

# おとずれ山の会 だより

第16号

森づくりを楽しみながら、自然との共生を考える

## 残る台風の爪跡 修復作業続く

R1年度が終了しましたが、市原・木更津の里山には写真のようになおその影響が強く残ります。自然の力の大きさに比べてボランティア活動の微力さを痛感するところですが、新年度に向けて新たな挑戦が始まることとなりました。



↑ 天羽田竹林



↑ 天羽田ジャックの森

↓ 真里谷おとずれの森

## R2年度“コロナ”で変則スタート

林野庁事業(森林・山村多面的機能発揮対策



交付金)については、台風被害や地方の農林業振興施策による特別措置の対象となり、おとずれの森、天羽田



↑ 大根花、頑張って咲いている！



の森ともに対象地区として活動継続が認められました。

一方、コロナ緊急事態により、4月～5月の定例活動は中止とせざるを得ず、変則スタートとなりました。

↑「三密」を避け、マスクや手洗いの徹底などウィルス感染に十分配慮した“少数による自主活動”が行われています→

### << 編集後記 >>

◆“コロナパンデミック”によって、私たちはさまざまな制約を受け、不自由な思いをしていますが、この際暮らしのありかたを見直して、新たな生活スタイルを作り上げてゆく良い機会だとする議論があります。

◆そう、人類はいささか急ぎ過ぎたかもしれない。経済優先の半面生ずる無駄も多かった一、多様性尊重と言いながら利益にならないモノは切り捨ててきた一、やたらに忙しがってきたが“不要不急”が多かったのでは一などの反省があります。◆里山人としては、宇宙の神秘を畏れ自然に感謝し清潔で簡素な暮らしを追求する存在でありたいと思います。◆自らライフスタイルを工夫することで、“コロナ禍転じて福となす”ことができるかもしれませんね。(編集局)



↑ 萌える若葉の季節です！

編集・発行:おとずれ山の会 代表:高橋順子

連絡先:高橋和靖(事務局 携帯 090-4735-6504) 〒299-0257千葉県袖ヶ浦市神納2-23-22

Email:kjtaka@kba.biglobe.ne.jp Blog:「おとずれ山の会」で検索し「ブログ」をクリックして下さい